令和2年度鳥取県立博物館企画展
「輝いていた60’s―1960 年代のスポーツと生活文化―」開催要項

1 趣旨

東京2020、東京で2回目のオリンピックの開催が決まりました。昭和39年（1964）、アジア初となった前大会はこの時代を象徴する国民行事であったといえます。

昭和30年代後半から40年代に高度成長期を迎えた日本の経済は、それまでの伝統的な生活様式を一変させました。これまでの日本の伝統的なものづくりから工場で大量生産されるようになり、日本の住宅事情、夢のマイカー時代、お茶の間へのテレビの浸透など生活様式や社会状況は変容しました。56年経った現在の日本の発展もこの時代から始まったといっても良いでしょう。

本展では、日本と鳥取県の1960年代の出来事、当時の生活資料を紹介します。そして、日本有数の昭和家電コレクターである冨永潤さん（三重県伊賀市・昭和ハウス館長）のコレクションを展示し「60年代」を知る世代には懐かしく、知らない世代はわくわくする、ひと昔前の豊かな時代「昭和」を体感していただく展覧会にしたいと思います。

2 展示内容

(1)1964
(2)鳥取県のオリンピアン
(3)昭和モダン建築
(4)その頃、鳥取県では
(5)わたしの60年代

3 会期

令和2年6月6日（土）から同年7月5日（日）まで

4 会場

鳥取県立博物館　第1・第2特別展示室

5 主催

鳥取県立博物館
〒680-0011 鳥取市東町二丁目 124 番地
TEL 0857-26-8042　FAX 0857-26-8041
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/
電子メール：hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

6 後援

朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK さんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局

7 協力

公益財団法人　鳥取県スポーツ協会

8　観覧料

一般500円（前売・20 名以上の団体料金300円）

大学生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等およびその介護者、70歳以上の方は減免（観覧無料）

9　関連行事

・6月7日（日）、7月5日（日）「昭和ハウス・冨永館長の昭和レトロ講座」
　講師：冨永潤さん（昭和ハウス館長）

・6月14日（日）講演会「鳥取県のオリンピアン―陸上競技選手を中心に―」
　講師：油野利博さん（鳥取大学名誉教授・公益財団法人鳥取県スポーツ協会名誉会長）

・6月21日（日）講演会「オリンピックがくれたもの」
　講師：大杖正彦さん（札幌オリンピック出場スキー選手）

・6月28日（日）歴史講座「60年代の鳥取市街地をぶらり」
　講師:当館学芸員